



TOHOKU
UNIVERSITY

SCHOOL of LAW 2026

学部案内

東北大学 法学部

世界を知る。
未来を考える。



小田滋

Oda Shigeru

学問と実務の両面で
国際法のあり方を示した
世界的法学者

世界で活躍した先人

1950年から1976年まで東北大学法学部で教鞭をとられた小田滋先生は、世界的に最も著名な国際法学者の一人であり、特に海洋法の分野における世界的権威として知られています。その著作は、今日でも世界中の研究者や学生にとって必読文献とされ、海洋法研究の礎となっています。小田先生は、学者としては国際法の諸問題の本質を鋭く捉える一方で、国際法が現実の国際社会でどのように用いられているかを重視し、自ら実務の最前線でも国際的に活躍されました。東北大学法学部在職中からすでに、国際司法裁判所において「北海大陸棚事件」の西ドイツ側弁護人を務めたほか、第1次から第3次にわたる国連海洋法会議で日本代表団の一員として条約交渉に携わるなど、国際法実務の現場でも重要な役割を担っていました。その後、1976年から2003年までの27年間にわたり国際司法裁判所裁判官を務め、多くの国際紛争の解決に尽力するとともに、今日でもしばしば参照される個別意見を数多く残しています。

第三期の法服記念写真



執務風景(1989年)

世を動かす
「法」と「政治」を学ぶことで、
不確実で予測できない
社会と向き合う



東北大学
大学院法学研究科長・法学部長

久保野 恵美子

Kubono Emiko

Greeting

法学部長あいさつ

東北大学法学部は、その前身である東北帝国大学法文学部が設置された大正11年(1922年)以来の長い歴史の中で、産・官・学・法曹・文芸その他の広い分野に、多くの優れた人材を送り出してきました(ウェブサイト「100周年記念法学部企画I・各界で活躍する卒業生へのインタビュー」<https://www.law.tohoku.ac.jp/100th/>をぜひご覧ください)。

このような卒業生の活躍は、よりよき社会の実現への情熱をもって研究に打ち込み、その成果を教育に注ぎ込んできた法学・政治学の研究者である教員と、向学心に富み社会貢献の意欲に満ちた学生との相互作用による法学部での学びに支えられています。

法学部の授業、特に少人数での演習授業(ゼミ)では、意見や利害の対立する人々の共生のための知恵の結晶である法と政治への洞察を深め、論理的に思考し、未知の課題を分析して解決を導く力や、自分自身の考えを相手に説得的に伝える力を涵養することができます。これらの力は、公務員・法曹のみならず、世を動かすあらゆる分野での活躍の礎となります。

進路目標が定まっている学生向けには、法学部に国際コース、法曹コースがあり、さらに、進学先として、公務員等の公共政策を担う高度専門職、法曹、研究者の各進路に適した3つの大学院が設置されています。2024年には東北大学が国際卓越研究大学に認定され、法学部では、この認定を活かし、戦略的な研究者人事等により、社会の基盤を支える法学・政治学の研究のより一層の強化、先端的応用的分野の拡充及び国際展開の促進を図っています。多様な関心や夢に応える学びの場を準備して、皆さんをお待ちしています。

東北大学法学部は、社会の変化やそれに伴う現代的課題に柔軟かつ粘り強く対応し、より良き社会の実現に貢献しうる人材の養成を使命としています。法や政治について、その力を信じる人も疑う人も、法学部で、唯一の正解のない社会的な課題の解決策を、私たちと共に、考え抜きますか。

2025年4月

さまざまな情報を分析し
自分の意見を深める力を

政治的情報の流通や影響を研究

現代政治分析を専門分野として、「マスメディアやオンライン空間において政治的情報がどのように流通し、有権者や政治家に影響を与えるのか」を中心に研究を行っています。これまで、特に日本の新聞が人々に与える影響について、全国紙だけでなく地方紙も網羅的に分析対象として、全体像の解明に取り組んできました。日本や世界各国の選挙ではSNSの影響が注目されていますが、「政治コミュニケーション」は政治学の普遍的な研究テーマとなっており、データ分析などの多様なアプローチで研究できる魅力があります。



プログラミング言語を使って統計分析を行う

演習では、Rというプログラミング言語を用いた政治学のデータ分析を行っています。表計算ソフトでは限界がある部分も、自分でコードを書けば柔軟な分析が可能になり、結果を分かりやすく可視化することができます。初めて挑戦する学生も半年後にはしっかりと手法を身に付けており、学生の知的好奇心の高さを感じています。

社会には多様な政党や主張があり、それを伝えるメディアもさまざまです。学生たちには、それらをまず自分なりに客観的に分析・理解してほしい。そして、自身の意見について洞察を深めてもらいたいです。政治は私たちの暮らしと密接に関わります。未来を担う学生たちに、政治と主体的に関わるツールとして、政治学の知識や議論を役立ててほしいと思います。

トップレベルの研究者から近い距離で学べる

政治学に限らず、データを適切に解釈・分析する力は、これからの社会でとても役立つと思います。東北大学法学部は、各分野のトップレベルの研究者から近い距離で学べるのが大きな魅力です。法学部は皆さんの想像以上に、幅広い領域をカバーする学部です。ぜひ、一緒に学びましょう。



金子 智樹 准教授

かねこともし

専門分野 / 現代政治分析

教員から

Message

日本とフランスの会社法について研究

私の専門分野は商法です。学部生のときに会社法を学ぶゼミに入り、そこでの学びや先生との出会いをきっかけに研究者の道に進みました。会社法が規律するのは、経済社会に欠かせない株式会社です。株式会社の中で特に規模の大きな企業は、運営方法が世界の経済に影響を及ぼします。国内外の経済に関わる会社法がどのように成立し、海外からどのような影響を受けてきたのかについて、関心を持っています。

私が主に研究しているのは、フランスの会社法です。フランスと日本は歴史が異なり、地理的にも離れていますが、会社の仕組みについては日本と大きな違いはありません。しかし、会社法では同じ言葉を使っても前提とされている状況がときに異なるところに面白さを感じています。

社会でのシチュエーションをイメージ

授業では、会社法の判例等を扱うゼミや、会社法に関する講義などを担当しています。商法や会社法の条文は学生にとって身近に感じられるものばかりではありません。そのため、授業ではなるべく具体的にイメージできるような説明を心がけています。学生たちが社会の中で活躍できるよう、商法や会

社法の学びを通して、会社の基本となる仕組みやそれぞれの機関の役割、誰がどのように保護されていていかなる責任を負うのかなど、さまざまなシチュエーションをイメージできるように成長してほしいと思います。

学生のチャレンジをサポートする環境です

東北大学は様々な研究に取り組むことができる自由な校風で、教員・学生ともに自身の興味に応じて課題に挑戦する環境が整えられています。また、東北大学は「国際卓越研究大学」に認定されており、研究面での国際的なチャレンジも積極的に支援することから、さらに活力のある大学になっていくと思います。幅広い学びの中でやりたいことが見つけられると思いますし、教員一同、学生の意欲をサポートしたいと思っています。

商法の学びを通して
社会で必要な力を養う



石川 真衣 准教授

いしかわ まい

専門分野 / 商法





東北大学法学部の教員が取り組んでいる研究

<p>教授 蘆立 順美 ASHIDATE Masami 専門分野: 知的財産法</p>	<p>准教授 大谷 祐毅 OTANI Yuki 専門分野: 刑事訴訟法</p>	<p>准教授 高畑 柊子 TAKAHATA Shuko 専門分野: 行政法</p>	<p>准教授 堀澤 明生 HORISAWA Akio 専門分野: 行政法</p>
<p>教授 阿南 友亮 ANAMI Yusuke 専門分野: 中国近代政治史/現代中国政治</p>	<p>教授 岡部 恭宜 OKABE Yasunobu 専門分野: 比較政治学、アジア政治経済論、 国際ボランティア論</p>	<p>教授 嵩 さやか DAKE Sayaka 専門分野: 社会保障法</p>	<p>准教授 松本 圭史 MATSUMOTO Yoshifumi 専門分野: 刑法</p>
<p>准教授 池田 悠太 IKEDA Yuta 専門分野: 民法</p>	<p>准教授 岡本 弘道 OKAMOTO Hiromichi 専門分野: 民事訴訟法</p>	<p>教授 戸澤 英典 TOZAWA Hidenori 専門分野: 国際政治学</p>	<p>教授 森田 果 MORITA Hatsuru 専門分野: 商法、法の経済分析、実証分析</p>
<p>准教授 石川 真衣 ISHIKAWA Mai 専門分野: 商法</p>	<p>教授 奥村 公輔 OKUMURA Kosuke 専門分野: 憲法</p>	<p>教授 中林 暁生 NAKABAYASHI Akio 専門分野: 憲法</p>	<p>准教授 諸岡 慧人 MOROOKA Akito 専門分野: 行政法</p>
<p>准教授 市川 英孝 ICHIKAWA Hidetaka 専門分野: 民法</p>	<p>教授 鹿子生 浩輝 KAKOO Hiroki 専門分野: 政治思想史</p>	<p>教授 成瀬 幸典 NARUSE Yukinori 専門分野: 刑法</p>	<p>教授 横田 正顕 YOKOTA Masaaki 専門分野: 比較政治</p>
<p>教授 井上 和治 INOUE Kazuharu 専門分野: 刑事訴訟法、英米刑事訴訟法史</p>	<p>准教授 金子 智樹 KANeko Tomoki 専門分野: 現代政治分析</p>	<p>教授 西岡 晋 NISHIOKA Susumu 専門分野: 行政学</p>	<p>教授 吉永 一行 YOSHINAGA Kazuyuki 専門分野: 民法</p>
<p>教授 井上 泰人 INOUE Yasuhito 専門分野: 国際私法</p>	<p>教授 樺島 博志 KABASHIMA Hiroshi 専門分野: 法理学</p>	<p>教授 西土 彰一郎 NISHIDO Shoichiro 専門分野: 憲法</p>	<p>准教授 頼 奕成 LAI Ekisei 専門分野: 商法</p>
<p>准教授 今津 綾子 IMAZU Ayako 専門分野: 民事訴訟法</p>	<p>教授 櫛橋 明香 KUSHIHASHI Sayaka 専門分野: 民法</p>	<p>教授 西本 健太郎 NISHIMOTO Kentaro 専門分野: 国際法</p>	<p>教授 ROOTS Maia ROOTS Maia 専門分野: 比較家族法</p>
<p>教授 植木 俊哉 UEKI Toshiya 専門分野: 国際法学</p>	<p>教授 久保野 恵美子 KUBONO Emiko 専門分野: 民法</p>	<p>教授 平田 武 HIRATA Takeshi 専門分野: 西洋政治史</p>	<p>准教授 脇田 将典 WAKITA Masanori 専門分野: 商法</p>
<p>准教授 宇野 瑛人 UNO Akito 専門分野: 民事訴訟法</p>	<p>教授 桑村 裕美子 KUWAMURA Yumiko 専門分野: 労働法</p>	<p>教授 伏見 岳人 FUSHIMI Taketo 専門分野: 日本政治外交史</p>	<p>※2025年5月1日現在</p>
<p>教授 大江 裕幸 OE Hiroyuki 専門分野: 行政法</p>	<p>教授 伊永 大輔 KORENAGA Daisuke 専門分野: 経済法・競争政策</p>	<p>准教授 藤原 健太郎 FUJIWARA Kentaro 専門分野: 租税法</p>	

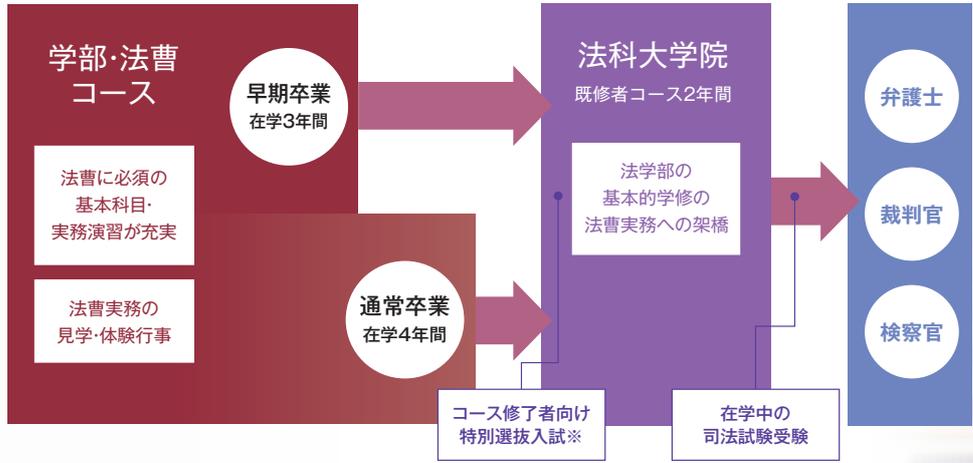
法曹 コース

弁護士等の夢へ一直線

法学部・法科大学院一貫の法曹養成教育



詳しくは法学部
Webサイトも参
照してください



法学部入学から最短5年で司法修習・法曹実務へ

※連携法科大学院(東北大学法科大学院)の5年一貫型特別選抜入試では、所定の成績要件等を満たして法曹コースを修了した場合、法律科目の筆記試験が免除されます。法曹コース修了者は、この他、連携・非連携法科大学院が実施する開放型特別選抜入試を受験することもできます。



法曹コースについては
文部科学省Webサイトも
参照してください。

https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/houka/houka.htm

コース紹介

国際 コース

法学部から世界へ!

国際コースとは・・・

国際的な視野を備えた法政ジェネラリストを目指す法学部学生に対して、海外留学を必須とした多様な教育プログラムを提供するコースです。国際コースは、学部・修士課程を通じた教育プログラムである「国際プログラム」の中に位置づけられています。希望者は、学部の早期卒業制度と修士課程の早期修了制度を活用することにより、学部・修士課程を5年で修了することができます。

最近の留学例

カリフォルニア大学バークレー校、ハワイ大学マノワ校(以上米国)、ゲッティンゲン大学、パダボン大学(以上ドイツ)、トゥルク大学(フィンランド)、リヨン政治学院(フランス)、グラナダ大学(スペイン)、オーストラリア国立大学(オーストラリア)、ウプサラ大学(スウェーデン)、ウィーン大学(オーストリア)、マラヤ大学(マレーシア)、国民大学校(韓国)など

国際コース修了後の進路

国際コースを修了して学部を卒業した後は、

- 研究大学院の修士課程への進学(国際プログラム)
- その他の大学院(法科大学院、公共政策大学院、海外の大学院等)への進学
- 就職(国際的な企業、国際機関、外務省、経済産業省、JICA、JETRO等)

などの進路が想定されています。



豊かな自然と 雰囲気の良いに惹かれる

中学生のころから漠然と法学に興味がありました。法学部を志し、各地の大学を見学する中で、東北大学法学部の自然豊かで落ち着いた雰囲気が気に入りました。実際に住んでみても、仙台は都会的な街並みとのどかな風景がバランスよく調和され、とても過ごしやすくと感じています。大

学を選ぶときには、自分の足で訪れて雰囲気や学校の様

館野 太樹

たてのたいき

出身 群馬県伊勢崎市
趣味 アニメ・漫画鑑賞



子を感じると良い経験になると思います。

授業の中で、特に興味を持っているのが民法です。私たちの生活との関連をイメージしやすく、日々の暮らしの中でも役立つ部分があると感じています。民法に限らず、法律の条文はさまざまな解釈があり、六法だけでなく多くの判例や学説から読み解く必要があります。膨大な量になるため、ノートにまとめて繰り返し復習するように心がけています。

仲間とともにやりがいを見つけた自主ゼミ

大学生活で特に印象に残っているのが「模擬裁判実行委員会」という自主ゼミです。事件を題材に裁判劇を作成し、年に1回の公演に向けて多い時には授業が終わってから夜まで活動します。私は演技指導や舞

台照明にあたる「演出」を担当しました。先輩・後輩問わず多くのかけがえのない仲間ができましたし、その仲間とともに公演を終えたときには大きな達成感を得ることができました。

大学生活を通して新たに描く、 将来のビジョン

今後は法科大学院に進み、法曹三者のいずれかになりたいと考えています。より実践的な学びを積み重ね、自分の適性を見極めて将来の進路を検討していきたいです。自主ゼミでの活動を通して、自分の行動やアイデアを喜んでもらえることが自分のモチベーションになると気付きました。将来も法学部での知識を生かして、誰かに「ありがとう」と言われるような仕事にやりがいをもって向き合っていきたいと思っています。

仲間とともに 新たなやりがいを見つける

将来の夢を実現するため、 留学を目指す

中学校の授業でフィリピンの児童労働の問題を知り、将来は生まれた環境に左右されず望んだ人が機会を得られる社会づくりに貢献したいと思い、そのための経験を積もうと留学を目指すようになりました。東北大学を志望したのも、交換留学の協定を結んでいる大学の数が多く、留学のチャンスが多いと考えたからです。法学部は、自分の興味に合わせて主体的に授業を選べるスタイルが自分に合っていると思い選びました。

充実したサポートで 準備を進める

1年生のときにアメリカに2週間、2年生の終わりから1年間、マレーシアへの留学を経験しました。マレーシアでは、東南アジアの政

治や民族、ジェンダーなどについて学びました。

留学にあたって、東北大学、東北大学法学部の両方からサポートを受けることができました。東北大学には、留学する学生を支援する「東北大学グローバルキャンパスサポーター」という団体があり、留学経験がある先輩方に行き先や応募書類の添削などを相談できました。また、法学部国際コースでは留学の事前・事後指導を受けられ、留学を経験した法学部の在学生・卒業生の先輩から奨学金や就職活動の両立方法、海外経験を仕事でどのように生かしているのかを聞くことができました。多くの先輩方に相談できるのは心強いですし、長期的な視点で考えることができました。

海外での経験から見えた 新たな目標

児童労働問題から留学を希望しましたが、

海外での経験を通して理解を深める中で、大人も含めて幅広い支援が必要だと考えるようになりました。東南アジア以外の地域や、出身地の秋田のような地方にも貢献したいという思いも生まれました。多くの人の挑戦を後押しできる未来を実現できるよう、これからも学びを深めていきたいと思っています。

海外留学を通して 将来の夢を描く

岩田 理子

いわたりこ

出身 秋田県秋田市
趣味 オープン演奏





自主ゼミ

大学生活では、サークルやクラブに参加する学生も多いです。ここでは、東北大学法学部独自のサークルである「自主ゼミ」のいくつかと、それらに所属する学生の1週間を紹介します。

模擬裁判実行委員会

私たち模擬裁判実行委員会は毎年秋に裁判劇の公演を行い、観ていただいた市民の皆様に法と社会の関わりについて考えていただくという活動を行っている団体です。また、今年の公演で第74回目という長い歴史を持つ団体でもあります。キャストはもちろん脚本の執筆や演技指導、宣伝などのあらゆる活動のすべてを学生自身で行っており、普段の生活ではなかなか感じることでできない充実感や達成感を味わうことができます。また、公演に向けての活動のほか、ご飯会や芋煮会、他大学との交流会など楽しいイベントを通して、学年を超えて絆を深めることができます。

公演の内容については、毎年異なる法律問題を一つ取り上げ、それをテーマとして物語を展開させています。実際に裁判が行われる法廷シーンのほか、主人公の日常を描いたシーンなどを盛り込むことで観客の皆さんに分かりやすく、そして身近な問題として考えていただけるように努力しています。

2025年の公演は、11月29日(土)、11月30日(日)に東北大学百周年記念館川内萩ホールにて行う予定です。この公演を観て模擬裁判実行委員会に憧れて入ってくる新入生もいますので、今年も高校生の皆様の刺激になるものをお届けできるかと思います。皆様のご来場を心よりお待ちしております。

	月	火
	起床 9:00	起床 7:30
1 講時		契約法・ 債権総論
2 講時	行政法Ⅰ	会社法Ⅰ
3 講時	展開中国語Ⅰ	刑法Ⅱ
4 講時	行政法Ⅰ	憲法Ⅱ
5 講時	自主ゼミ	
	就寝 24:00	就寝 24:00

東北大学無料法律相談所

東北大学無料法律相談所は、法律問題を抱える市民の皆様からのご相談をお受けし、本学法学部の学生である所員が、お客様が抱える疑問やその後の対応などについて回答・アドバイスするという活動を行っている団体です。本学で教鞭を執られた中川善之助先生によって昭和3(1928)年に創設されて以来、学生を中心に運営され、現在は法学部の自主ゼミの一つとして活動しています。

相談活動は、電話やメールなどでお客様からの法律相談をお受けした後、本学の先生方や弁護士の方のご協力のもと所員が検討を重ね、来所されたお客様に対して回答させていただくという流れをとっています。主要な活動であるお客様への回答は3・4年生が担当しますが、回答を担当しない所員にも、事前の聞き取りや回答の場への同席といった形で回答活動に関わる機会が設けられています。相談内容は契約や相続といった民事事件一般の他、労働問題や行政関係の問題など多岐にわたり、法学部の講義で学ぶ種々の法規が、現実の問題に対してどのように適用されるかを知ることができます。また、活動には責任が伴う反面、講義とは違ったアプローチで知識や経験を得ることのできる有意義な活動であるともいえます。

通常の回答活動は講義期間中の土曜日に実施しており、夏期休業期間には東北地方の市町村を訪問する出張相談活動も行っています。また、芋煮会などのイベントも通年で開催しています。私たちの活動に興味を持たれた皆様の入所をお待ちしています。

	月	火
	起床 8:30	起床 7:30
1 講時		契約法・ 債権総論
2 講時	行政法Ⅰ	自主ゼミ
3 講時	民事訴訟法	刑法Ⅱ
4 講時	行政法Ⅰ	憲法Ⅱ
5 講時		
		バイト(18:00)
	就寝 25:00	就寝 25:00

倶楽部国際法

私たちの主な活動は年2回(夏・冬)の国際法模擬裁判大会への出場です。

問題発表後、メモリアルとよばれる回答書面を作成し、東京及び京都で行われる模擬法廷に向けて弁論練習を行います。

大会当日は、東大や早稲田大といった他の大学と弁論で戦います。

各自がリサーチを行い、みんなで協力して1つのメモリアルを作る達成感はひとしおですし、法的な思考力や弁論力も身につきます。

また、昨年度は夏大会で弁論者賞の1位2位を独占し、外務大臣賞も獲得したり、英語弁論である冬大会でメモリアル2位、総合3位を獲得したりと各種大会で結果も残しています!

春には花見、夏にはBBQ、秋には芋煮、冬には京都観光やスキー旅行などイベントも多く予定されており、メンバー同士の仲も良いです。

卒業後の進路もさまざまで、在学中に海外留学に行く人も多いです。

国際法に少しでも興味のある方や好奇心旺盛な方はぜひ見学にいらしてください!

	月	火
	起床 7:30	起床 7:30
1 講時		契約法・ 債権総論
2 講時		フランス文学 概論
3 講時		刑法Ⅱ
4 講時		憲法Ⅱ
5 講時	ゼミ活動	国際法演習
	他サークル活動 (18:00~20:00)	
	就寝 24:00	就寝 24:00

所属学生の1週間

水	木	金	土	日
起床 9:00	起床 7:30	起床 9:00	起床 9:00	起床 10:00
	英語Ⅲ			
	会社法Ⅰ			
	契約法 債権総論	現代政治分析		
	比較法社会論	現代政治分析		
自主ゼミ		自主ゼミ		
就寝 24:00	就寝 24:00	就寝 24:00	就寝 24:00	就寝 24:00



所属学生の1週間

水	木	金	土	日
起床 8:30	起床 7:30	起床 8:30	起床 8:30	起床 8:30
	英語Ⅲ			
趣味・勉強	展開ドイツ語	民事訴訟法		
	契約法 債権総論	現代政治分析		
会計学入門	地域財務 金融行政論	現代政治分析		
			バイト (13:00~ 21:30)	バイト (13:00~ 21:30)
~21:30)	バイト(18:00~21:30)			
就寝 25:00	就寝 25:00	就寝 25:00	就寝 25:00	就寝 25:00



所属学生の1週間

水	木	金	土	日
起床 7:30	起床 7:30	起床 7:30	起床 7:30	起床 7:30
実験心理学 概論	展開フランス語Ⅰ	中国政治演習Ⅰ		
フランス語勉強	契約法 債権総論	現代政治分析		
	西洋政治史 基礎演習	現代政治分析		
実践フランス語	西洋政治史 基礎演習			
他サークル活動 (18:00~20:00)	バイト(18:00~ 22:30)		バイト	バイト
就寝 24:00	就寝 24:00	就寝 24:00	就寝 26:00	就寝 26:00





東北大学法学部の「教育理念」及び「教育目標」

東北大学法学部では、法学・政治学に関する正確な基礎知識を身につけ、鋭い正義感覚と幅広い視野から社会に伏在する諸問題を発見・分析し、その解決に努めることをもって、良き社会の実現に貢献する人材、すなわち「法政ジェネラリスト」の養成を行うことを教育目的としています。

ディプロマ・ポリシー

東北大学法学部では、次に掲げる教育目的に従い、全学教育科目の単位を39単位以上及び専門教育科目の単位を90単位以上（うち私法・公法科目2単位以上、基礎法科目2単位以上及び政治学科目2単位以上）を修得した学生について、学士の学位を授与する。

1

教養ある国際市民としての素養を備え、法学・政治学の正確な基礎知識を修得し、鋭い正義感と幅広い視野に基づき、社会に生起する問題を発見かつ分析し、利害の衝突を未然に防止し、あるいは紛争を解決することにより良き社会の実現に貢献する人材（法政ジェネラリスト）を養成する。

2

法学・政治学における学術研究または高度専門職（法政スペシャリスト）となるために共通の前提となる基礎知識・素養と幅広い見識を有する人材を涵養する。

3

グローバル社会において、指導的・中核的役割を果たす自覚と展望を持ち、その基となる国際的視野とコミュニケーション能力を有する人材を輩出する。



カリキュラム・ポリシー

東北大学法学部では、ディプロマ・ポリシーに掲げた教育目的の実現を目指して、以下の方針に基づき教育課程を編成・実施する。

1

学部開講の授業科目を内容に即して「基礎講義」・「基幹講義」・「展開講義」の категорияに分け、段階的に配置することによって法学・政治学の基礎的な内容を無理なく体系的に修得させる。

2

段階的に配置された講義科目と併行して、1年次から4年次までの学部4年間全般にわたって、「基礎」・「基幹」・「展開」の各講義をフォローアップするため、少人数で開かれる「演習」を多数開講する。

3

成績評価は、講義の場合は定期試験を中心に小テスト・受講態度・課題への取り組み等を総合して評価し、演習の場合は出席、発言の回数や質、課題への取り組み等を総合して評価する方法を原則とする。

1

「基礎講義」とは、1・2年次生を対象に、法や政治の歴史的・思想的・社会的背景を学ぶことを目的とするもので、全学教育と連携しながら幅広い教養と視野を備えた人間の養成を図るものである。

2

「基幹科目」とは、1年次後半から2・3年次にかけて、「基礎講義」の履修を前提として、法学・政治学の根幹をなす主要科目の修得を図るものである。

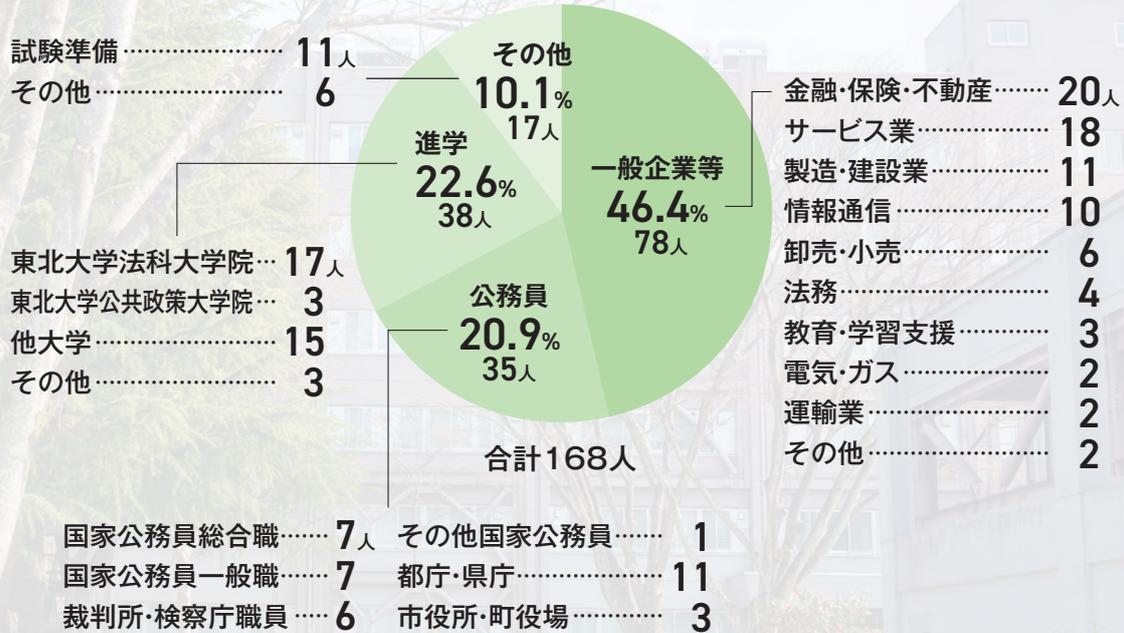
3

「展開講義」とは、3・4年次において、法学・政治学について、より深い理解とさらに豊かな見識との修得を図るものである。

卒業生の進路

令和6年度

進路先状況



卒業生の進路

Career

過去5年間の主な就職先

(2020年度～2024年度 卒業生)

【一般企業】 トヨタ自動車株式会社、株式会社博報堂、ソニーグループ株式会社、丸紅株式会社、日本製鉄、JR東日本、日本航空株式会社、日本郵船、NTT東日本、楽天グループ株式会社、読売新聞、日本経済新聞社、一般社団法人共同通信社、東北電力株式会社、日本銀行、日本政策金融公庫、三井住友銀行、三菱UFJ銀行、七十七銀行、野村證券株式会社、三井物産株式会社、住宅金融支援機構など

【公務員】 参議院事務局、総務省、財務省、文部科学省、農林水産省、外務省、防衛省、金融庁、特許庁、仙台湾税局、東北管区警察局、宮城県庁、東京都庁、仙台市役所、つくば市役所、最高裁判所、仙台高等裁判所、名古屋高等裁判所、東京地方裁判所、仙台地方裁判所、東京家庭裁判所、仙台地方検察庁など

法学部で学んだ幅広い知見で 日本の平和と安全を守る



栗田 知明

くりた ともあき

防衛省 総合職事務系

【経歴】

- 2022年3月 東北大学法学部卒業
- 2022年4月 防衛省入省 防衛政策局防衛政策課
- 2023年4月 地方協力局沖縄協力課
- 2024年7月 陸上総隊司令部運用部
- 2025年4月 整備計画局防衛計画課

法学と政治学を 柔軟に学べるのが魅力

高校生の頃から関心があった日本の安全保障について考えることができる大学に進学したいと考えていました。東北大学法学部は、「法政ジェネラリスト」の養成を目指した柔軟なカリキュラムの下で、政治学だけでなく、国内法や国

同士の関係を規律する国際法についても幅広く学べるのが魅力でした。教授陣の方々も、各分野を先導する研究者の先生に加え、中央省庁での勤務経験のある実務家教員の方もいらっしゃり、実務と学術の双方を高いレベルで学べる点も志望する大きな理由になりました。

知識だけではなく 実務への生かし方も学ぶ

特に印象に残っている授業は中国政治演習です。安全保障を考える上で重要な中国について、政治学の抽象的な理論にとどまらず、地に足をつけた、中国の内側からの視点を学ぶことができました。さらに、演習担当教員の阿南先生は実務にも明るく、就職活動でのご助言をいただくだけでなく、就職後に実務と専門知をどう架橋していくかも導いていただきました。大学生活の半分以上の期間にわたってご指導いただきましたが、人生の指針となる学びをいただいたと感謝しております。

また、所属していた自主ゼミでは、仮想シナリオ上の国家の代表として模擬国際裁判を行いました。英語文献を読み込んだ上で、実務に直結する形で国

際法に関して英語で弁論することができ、とても印象に残っています。

培った知識で先見性を磨き 日本を守り抜く

現在は防衛省の総合職事務系として、日本の平和や安定を守り抜くための防衛力の整備やその運用に携わっています。防衛力の整備には長い時間がかかることから、計画段階での先見性が欠かせません。また、自衛隊の運用は一瞬のうちに日本としての決断を下す必要がある営みでもあります。国内・国際法の知見を前提に、各国の内政や国際政治への深い理解がなければこうした先見性や瞬発力を発揮することはできないため、東北大学法学部での学びが今の私を形作っていることを、日々実感しています。

このように、私は安全保障に携わっていますが、他分野の公務や法曹など、「公」に携わる者であれば「法政ジェネラリスト」に向けての道のりで涵養した、バランスのとれた法学・政治学の知見が、その人生の礎となると確信しています。「公」に関心がある皆さん、東北大学法学部の門をたたいてみませんか。



※職務に関する内容は個人の見解であり、また読者の皆様に分かりやすくするための表現も用いて記述しており、防衛省・自衛隊の見解を示すものではありません

OM・OGから
Message

多くの人と関わりながら

仕事を通して社会に貢献したい



オープンキャンパスで 魅力を感じる

法曹の世界に興味があったことと、論理的思考力を学べると思い、法学部を目指しました。東北大学を選んだのは、東京の大学も含めてオープンキャンパスに参加した中でも、自然豊かな環境や仙台の街の雰囲気の魅力を感じたからです。入学した後も、とても住みやすく、たくさんの仲間もでき、楽しい学生生活を送ることができました。

自主ゼミでの活動を通して 社会に役立つ力を身に付ける

大学では、国際法模擬裁判の大会出場を主な活動とする自主ゼミ「倶楽部国際法」に打ち込みました。大会では、架空の国家間の紛争を題材に、原告側と被告側に分かれて弁論を行うため、大会に向けた主張文の作成や、弁論の練習などに取り組みました。国際法の興味深いところは、多様な解釈ができることです。国内法では、過去の判例で解釈が決められると、それを覆すのは非常に困難です。しかし、国際法は解釈の幅が広いので、時間をかけて調べるほど論が補強され、自

信につながる魅力でした。国際法はエビデンスが重要であり、膨大な量の英語論文や判例を読み込んだため、リサーチ力や主張をエビデンスに紐づける習慣が付いたと感じています。

また、大学1年生では東北大学ユニバーシティ・ハウスに入寮しました。留学生の方とともに生活するため、日常的に英語でコミュニケーションを取れたことは、今の仕事にとっても役立っています。

大きな価値を提供できる 自動車業界へ

自分の可能性を模索するために司法書士の事務所や民間企業でアルバイトをしました。法曹の仕事もとても魅力的でしたが、民間企業でより多くの人と関わりながら事業を通じて社会に価値を提供したいと考えるようになりました。合同企業説明会でトヨタのブースに参加した際に、ある国に一つの工場を建てることで雇用を生み、インフラも整備されて街ができることを知り、自動車業界が社会に与えられるインパクトの大きさに魅力を感じました。

現在は、渉外部に所属し、弊社の想いに共感し、応援して下さる仲間を増

関戸 かおり

せきど かおり

トヨタ自動車株式会社
渉外部海外渉外室地域グループ

【経歴】

2013年 3月 東北大学法学部卒業
2013年 4月 トヨタ自動車株式会社 入社
2013年11月 サービスパーツ物流部
2018年 1月 オリンピック・パラリンピック部
2022年 4月 ウーブン・アルファ株式会社(現・ウーブン・バイ・トヨタ株式会社)
(出向)
2023年 1月 渉外部

やす渉外活動に取り組んでいます。私はアメリカやカナダ、メキシコを担当し、政府関係者の方とやり取りすることも多くありますが「トヨタの車に乗っているよ」など、弊社の製品がお客様の生活を支えていると垣間見える瞬間にやりがいを感じますし、弊社にシンパシーを感じていただける方が国内外に増えていくと実感できる瞬間もモチベーションにつながっています。

弊社も女性社員が増えてきました。今後は、後輩たちのロールモデルとなるような働き方を示していくことが目標です。

Message

OB・OGから



入試情報

東北大学法学部では、主に「一般選抜入学試験(前期日程)」「AO入試(総合型選抜)Ⅱ期」「AO入試(総合型選抜)Ⅲ期」という3つの入学者選抜方法を設けています。

法学部は、良き社会の構築に寄与する知的人材の育成を理念としています。そのため、入試では、現代社会の直面する諸問題に関心を持ち、大学で養った法学的・政治学的知識と思考力を活かして、社会に貢献する意欲のある人を求めています。

AO入試では、特に、国内の地域社会からグローバル社会にわたる法的・政治的諸問題への関心を強く持ち、論理的思考力と英語能力を有する人(AO入試Ⅱ期)、現代社会に生じる法的・政治的諸問題についての幅広い関心と、法律・行政に関する実務や研究に将来携わろうとする強い意欲を持つ人(AO入試Ⅲ期)を求めています。そのため、AO入試では、書類審査の評価と面接試験が実施されます。

【募集人員】

	定員160名
一般選抜入試(前期日程)	112名
AO入試Ⅱ期	24名
AO入試Ⅲ期	24名



入試情報については
法学部 Web サイトも
ご覧ください

【入試制度の概要】

	第1次選考	第2次選考
一般選抜入試* ¹ (前期日程)	大学入学共通テスト (国語、地理歴史・公民、数学、理科、外国語、情報)	個別学力試験 (国語、数学、外国語)
AO入試Ⅱ期 * ^{2*3}	筆記試験 (英文読解力、論理的思考力)	面接試験
AO入試Ⅲ期 * ²	大学入学共通テスト (国語、地理歴史・公民、数学、理科、外国語、情報)	面接試験

*1 一般選抜では、「主体性評価チェックリスト」を最終段階選抜で活用します。

*2 AO入試では、東北大学法学部での勉学を強く志望し、合格した場合には必ず入学することを確約できることが出願要件です。

*3 AO入試Ⅱ期では、現役高校生であること、かつ、調査書の学習成績概評がA段階であることも出願要件となります。

【配点】

	第1次選考	第2次選考
一般選抜入試 (前期日程)	* ¹	大学入学共通テスト 950、個別学力試験 1950 計 2,900
AO入試Ⅱ期	筆記試験 900 (英文読解力、論理的思考力)	筆記試験 900、面接試験 400 計 1,300
AO入試Ⅲ期	大学入学共通テスト 950 (国語、地理歴史・公民、数学、理科、外国語、情報)	大学入学共通テスト 950、面接試験 400 計 1,350

*1 志願者数が募集人員を大幅に上回り、個別学力試験を適切に実施できない場合に、大学入学共通テストの成績(素点)により、選抜を実施します。

【2026年度 入試日程】

	大学入学共通テスト	筆記試験	面接試験
一般選抜入試 (前期日程)	2026年1月	2026年2月25・26日	—
AO入試Ⅱ期	—	2025年11月1日	2025年11月15日
AO入試Ⅲ期	2026年1月	—	2026年2月上旬

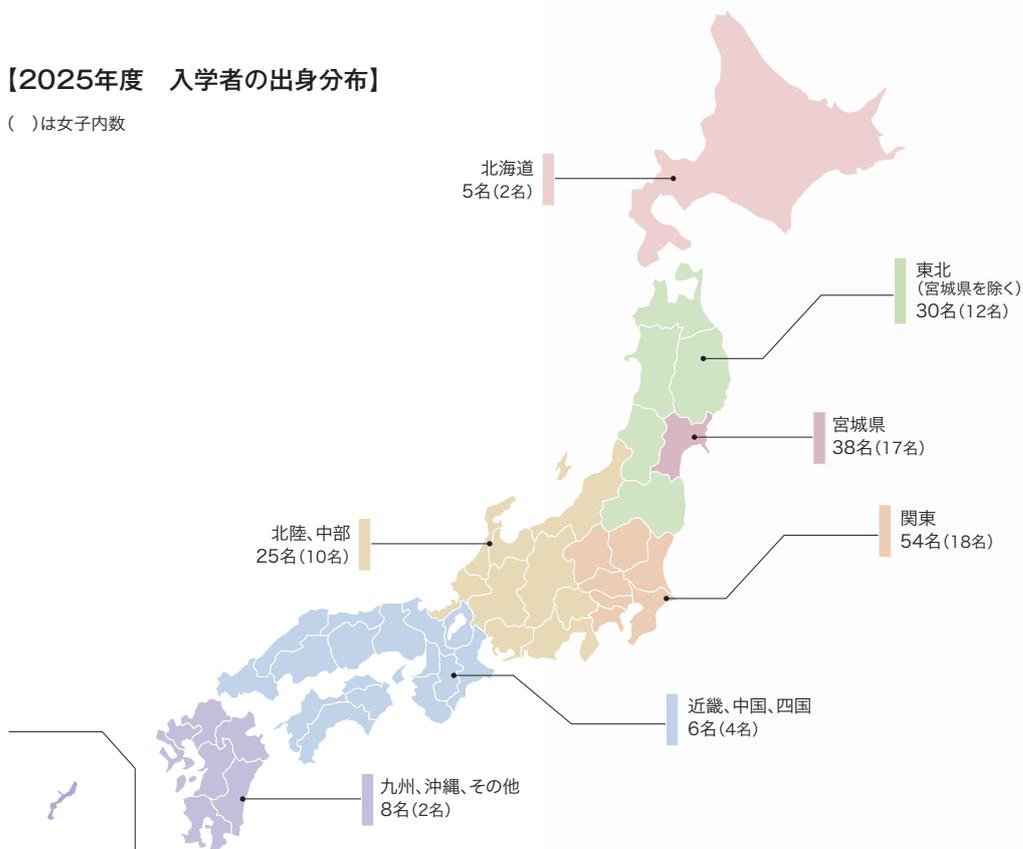
【2025年度 入試実施結果】

	定員	志願者数	第1次選考 合格者数	第2次選考 合格者数	入学者数
一般選抜入試 (前期日程)	112	343	— (実施なし)	123	115
AO入試Ⅱ期	24	81	37	24	24
AO入試Ⅲ期	24	89	38	24	24

* このほか私費外国人留学生入試 入学者3名

【2025年度 入学者の出身分布】

()は女子内数



【その他】

※最新の情報は、必ず、東北大学入試センターのウェブサイトをご確認ください。

※2026年度の入試には今後変更が生じる場合がありますこと、ご了承ください。

もっと知りたい!

東北大学法学部 ウェブサイトガイド



法学部 HP

Q クラブやサークルについて知りたい

- ▶
- ▶

大学全体の部活・サークルに加えて法学部では、「自主ゼミ」と呼ばれる独自のサークルが活発に活動しています。



学友会・サークル



法学部自主ゼミ

Q 東北大学法学部にはどのように行ったらよいですか

- ▶

Cエリア内のC12の建物が法学部棟です。授業はC18中講義棟やC19文科系総合講義棟などでも行われます。最寄駅は仙台市営地下鉄東西線「国際センター駅」または「川内駅」です。



キャンパスマップ (川内)

Q 大学でどのような授業が行われていますか

- ▶

「シラバス(講義要項)」は、大学で開講されている授業の目的や進め方、教科書などの教材に関する指示を記した計画書です。全学共通科目と法学部専門科目に分けて、それぞれシラバスが公開されています。



シラバス

Q どんな先生がいますか?

- ▶

法学・政治学の様々な領域を専門とする研究者教員・実務家教員が、学生に対する教育や学術的研究のほか、専門知識を生かした社会貢献活動に取り組んでいます。



教員紹介

Q 図書館について知りたい

- ▶
- ▶

法学部の学生が主に使うのは、図書(本)と一般雑誌の蔵書が豊富な附属図書館本館と、法学・政治学の専門雑誌を集めた法学部図書室です。



附属図書館本館



法学部図書室

Q 困ったときにはどんなサポートを受けられますか

- ▶

法学部ウェブサイト上に、大学全体・法学部の学生支援に関する情報へのポータルサイトを作成しています。



学生支援ポータル

オープンキャンパス(対面&オンライン)の情報は入試センターウェブサイトで



お問い合わせは

東北大学法学部・法学研究科

〒980-8576 仙台市青葉区川内27-1

TEL.022-795-6175(教務係)

ホームページ:<http://www.law.tohoku.ac.jp/>

発行日:2025年6月